

ウェビナー 「国連生態系回復の10年」協賛イベント

里山再生と生態系の回復 ～ウェルビーイングの観点から～

2021年10月9日(土) 14:00 ~ 15:30
Zoomによるオンライン開催 参加無料:要事前登録

国連2030年アジェンダ「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成期限が迫るなか、国連は2021年からの10年を「生態系回復の10年」と宣言しました。人類の未来は生態系の回復にあるといっても過言ではありません。国土の67%を森林が占める日本は緑豊かな国と思われていますが、無秩序な開発や管理放棄によって日本の生態系も危機的な状況にあります。将来世代のウェルビーイングを損なわないために現世代は何をすべきなのか。このシンポジウムでは神奈川県の生態系に焦点を当て、生態系を保全・回復させるためのアクションについて多面的に議論します。

【プログラム】

14:00～開会挨拶 梅原出 (横浜国立大学 学長)

14:05～プレゼンテーション

神奈川県の植生と外来植物群落 (村上雄秀: 神奈川県自然保護協会)

神奈川の広葉樹林 (小池治: 横浜国立大学 名誉教授・連携研究員)

里山再生と人間のウェルビーイング (佐藤峰: 横浜国立大学 准教授)

多彩な広葉樹の造形による魅力発信 (原口健一: 横浜国立大学 准教授)

15:05～ パネルディスカッション

司会: 志村真紀 (横浜国立大学 地域実践教育研究センター 准教授)

15:25 閉会挨拶 (佐土原聡: 横浜国立大学 副学長・地域連携推進機構 機構長)



村上雄秀



小池 治



佐藤 峰



原口健一



志村真紀



佐土原聡



梅原 出

事前登録は右のアドレスあるいはQRコードから <https://bit.ly/3kZOjJ8>
事前登録して頂いた方のメールアドレス宛にアクセス用のURL・パスワードを送付します。
※シンポジウムの視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります

オー





横浜国立大学地域連携推進機構の取り組み

横浜国立大学地域連携推進機構は、地域連携活動および地域課題解決への先導的役割等を果たすとともに、地域社会と連携する中核拠点となるため、2017年4月に設置されました。機構では、地域に信頼され、地域に支えられ、地域の発展を支援するという、横浜国立大学の地域戦略における3つの精神を軸に、本学の研究力や教育力を地域問題解決へ還元し、大学として積極的に地域連携活動を推進しています

【里山保全への取り組み】

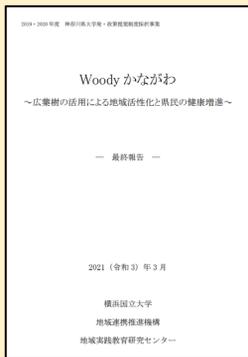
地域連携推進機構に設置されている地域実践教育研究センターでは、神奈川県との連携のもとに神奈川の里地里山の保全に関する研究に取り組んでいます

- ・「里地里山の保全効果に関する学際的研究」（2016～17年度）
 - ・「Woodyかながわ～広葉樹の活用による地域活性化と県民の健康増進」（2019～20年度）
- 研究報告書は、地域連携推進機構のホームページからダウンロードできます。

<https://www.chiiki.ynu.ac.jp/news/000112.html>

【Woodyかながわ～広葉樹の活用による地域活性化と県民の健康増進】 (目次)

- 神奈川県の広葉樹を使った中学生対象の題材開発
- 広葉樹の活用に関する研究プロジェクト－実技指導者の立場から－
- 多彩な樹種の造形による魅力発信
- 広葉樹を用いた椅子のデザインと製作
- 広葉樹の活用による観光の効果
- 森林と健康に関する検討
- 神奈川県における里山林の管理の現状と課題
- 「神奈川の美しい広葉樹林 50 選」の選定について
- 特別セミナー：村上雄秀氏「神奈川県の生物多様性～市民活動としての取組」
- インタビュー：青砥航次氏「神奈川県自然保護協会の歩みと神奈川県の森林保全」



NPO法人神奈川自然保護協会の取り組み



神奈川自然保護協会は、神奈川県土、神奈川県民及び関係諸機関に対して、自然保護活動推進及び情報発信をする事業を行い、神奈川県の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与することを目的に1965（昭和40）年10月に設立されました。以来約40年に渡り国内自然保護関係団体の先駆けとして、また県内を代表する自然保護団体として活動し、実績を残してきました。そして、環境保全に関心の高まる時代の要請に応えるため、2004年に「特定非営利活動法人 神奈川自然保護協会」を設立し、自然保護活動を更に強化し、その実を積極的に挙げるために活動を行っています

【主な活動】

- ・ 神奈川県の生物多様性ホットスポットの選定
- ・ 神奈川県版要注意外来種リスト
(通称：神奈川ブルーリスト)の選定
- ・ さがみ自然フォーラムの開催
- ・ 地学観察会の開催

【主な出版物】

- ・ 「かながわの自然」（定期刊行物）
- ・ 「よみもの神奈川自然誌～海・山・街のいのちをつなぐ」
神奈川新聞社



国際開発学会横浜支部について



国際開発学会
The Japan Society
For International Development

国際開発学会横浜支部 (JASID-Yokohama)は、横浜を中心とするエリアにおける国際開発・協力分野の人材や機関(大学・研究機関、政府・自治体、国際機関、企業、NGO・NPO等)の相互交流・ネットワークを推進し、地域をベースとした分野横断的な国際開発・協力研究の発展と普及を図ることを目的に、2013年1月に設立されました。定期的に研究会や交流イベントを開催しています